

～京都で人とつながる 夢がひろがる～ 京都市はたちニュース

令和7年京都市はたちを祝う記念式典を開催！

「はたちを祝う記念式典」に 多くの皆さんに ご参加いただきました。

1月13日(月・祝)にみやこめっせ(京都市勧業館)で開催した「令和7年京都市はたちを祝う記念式典」には、5,451名の方が参加され、厳粛な中にも温かみのある式典となりました。



優雅な音色と華麗な踊りで 二十歳を迎える方をお迎えしました！

式典に先立ち、市立芸術大学「エトワールカルテット」による弦楽四重奏、京都ハンナリーズオフィシャルチアダンサー「はんなりん」によるチアリーディング、「京小町踊り子隊」によるお祝いの踊り、上七軒歌舞会による二十歳の舞踊で、会場がお祝いムードに包まれました。



◀市立芸術大学「エトワールカルテット」
▼「京小町踊り子隊」



▲京都ハンナリーズオフィシャルチアダンサー
「はんなりん」

「上七軒歌舞会」▶



京都を代表する俳優「佐々木蔵之介」さんから お祝いメッセージをいただきました！

式典終了後には、京都を代表する俳優で、日本アカデミー賞優秀主演男優賞をはじめ、数多くの賞をご受賞されている「佐々木蔵之介」さんから、式典参加者の皆さんに温かいメッセージをいただきました。



松井市長から 二十歳を迎えられる皆様へ

松井孝治京都市長から、「京都の素晴らしい文化や技術に触れて、体験してほしい」「人生には失敗や挫折もあるが、一生懸命頑張っていれば、必ず自分の実りになる。皆さんには無限の可能性がある。京都を皆さんの力で更に発展させていきたい」との式辞がありました。



西村議長から 二十歳を迎えられる皆様へ

西村義直京都市会議長から、「これからの将来、何事にも果敢にチャレンジしていただきたい」「自ら考え、自ら行動する主権者の一人として自覚を持ち、京都市政や京都市会に興味・関心をもっていいただきたい」との祝辞が贈られました。



華包贈呈

吉田良比呂京都市副市長、稲田新吾京都市教育長、澤村悦弘ユース21京都市理事長から「二十歳の誓い」代表者に、「華包(はなつつみ)(※)」が贈られました。

※「和紙」と「いけばな」のエッセンスを融合し、和紙をのしのように折り、季節の花を挿したもの。江戸時代の伝書に残る「華包」を京都の若手華道家が流派を超えて、現代に復活させた。



参加者代表による「二十歳の誓い」



青山 心希さん

人と話すことが大好きな私にとって、高校入学直後、新型コロナで学校に行けなかった期間は苦痛そのものでした。そんな中、学習アプリを使ったクラスメイトとの自己紹介リレーやグループLINEでのやり取り、リモートやInstagramでの国際交流は、高校生活を豊かにし、リモートやSNSが私たちの世代にとって大きな存在であることを実感しました。

「人とつながる」ということは「誰かに希望を与えることだ」と思います。私の名前は心に希望と書いて「心希」と言います。これからは、人に希望を与えられる人間になりたいです。そして京都と世界をつなぐグローバルな人物になることを二十歳の誓いします。



小谷 美陽さん

高校入試の合格発表を待っている時、新型コロナのニュースが報道され始め、中学生活はあっけなく終わり、高校でも「もしコロナがなかったら」という悔しい思いで卒業しました。

大学生となり、やっと自由に活動出来るようになったはずなのに、コロナの流行で他人の視線や評価に過敏に反応してしまう風潮により、無難に過ごしたいという保守的な考えをするようになっていました。

祖母はいつも、「今ある環境で全力で頑張り、楽しみなさい」と声をかけてくれました。いつまでもコロナを言い訳にせず、今ある環境で全力で頑張り、まずは管理栄養士の免許取得を目指して前に進んでいきます。



石山 蓮也さん

「ジュニア京都観光大使」に任命されたことや高校でのフィールドワークをきっかけに、京都のまちに興味を持ち、散歩が趣味となりました。

高校の部活動では野球部のキャプテンを務め、新型コロナの影響でモチベーションが上がらなかった時、監督の言葉をきっかけに、自分の行動でチームが変わるという経験をしました。

散歩や野球だけでなく、高校時代には「漫才」にも打ち込み、高3の冬、「高校生漫才日本一」を決める大会で、全国679組の中から優勝し、日本一になりました。大学卒業後は副賞としてもらった特待生の権利を使い、NSC、吉本養成学校に行き、「誰からも愛されるお笑い芸人」になります。



川崎 彩加さん

2021年高2の4月、私はカナダへ留学し、最初のホームステイ先で、「アジア人がコロナを持ってきた」という差別を受け、初めて「孤独」を経験しました。

そんな時、教会でウクライナの難民の方と出会い、戦争の苦しみ、戦場の父親が心配なことを聞き、「難民の方の助けになりたい」という思いが湧いてきました。第二のホームステイ先では、難民問題に対するプロジェクトを開き、今でも難民問題に関する交流会活動を続けています。

私の目標は、先入観にとらわれず、物事を様々な方面から捉えることができるようになることです。そして、世界で不条理な苦しみにさらされている人の助け舟になりたいです。

お祝いムード一色のイベント会場！

式典終了後はイベント会場に移動し、はたちの集いコーナーなどで友人との再会を喜び合いながら、各団体の皆さんが心を込めて準備したブースで充実した一時を過ごしていました。

会場では、京都市学校給食研究会による懐かしの給食メニュー「プリプリ中華いため」や「三色ゼリー」、新洞学区4団体による「振舞い餅」、裏千家淡交会青年部による「お茶席」などが振る舞われ、他にもプロの写真家による「撮影スタジオ」や京都ハンナリーズによる「フォトスポット」、協賛企業のブースなどが出展し、お祝いムード一色の中、おもてなしを楽しみながら、未来への想いを抱いているようでした。



懐かしの給食コーナー



撮影スタジオ



お茶席



餅つき・振舞い餅コーナー



企業ブース



京都ハンナリーズブース

思い出成人式

様々な理由で二十歳の時に式典に参加できなかった方で、改めて式典に参加したい方をご招待しています。式典当日は、二十歳を迎えられた方と一緒に参加し、節目の日を迎えました。

1/2 成人式

小学校4年生(10歳)が、これまでの成長を振り返り、将来を考えるきっかけとする「1/2成人式」。当日は会場の受付で「おめでとうございます！」と声をかけながら、二十歳の参加者に記念品を渡し、その後、参加者とともに式典にも参加しました。



おめでとう・ありがとうの手紙

二十歳を迎えた方から、家族や関係者の方から、感謝やお祝いの気持ちを伝える「おめでとう・ありがとうの手紙」。受賞作は、下記のオフィシャルサイトからご覧ください。

